

総務企画防災常任委員会視察報告書

栗 原 収

○福島県相馬市

東日本大震災の対応及びその後の復興状況について

【所 見】

観測史上最大である東日本大震災は、東北地方と関東地方の沿岸部に壊滅的打撃を与えており、福島県沿岸は仙台市以南から千葉県まで続く単調な海岸線であり、沿岸部に漁港が少なく港を中心とした市街地形成が成り立ちにくい県であったが、相馬市はその数少ない漁港を有していたことから漁港及びその周辺市街地に大きな被害を受けていた。

発災直後に発生した津波からの相馬市海岸部住民の避難誘導の任務に当たったのは、地元に着した消防分団（原釜・尾浜地区：第3分団、飯豊地区：第7分団、磯辺地区：第9分団）であり任務遂行中に若き分団員の多くが殉職されているが、彼らの働きは多くの住民の尊い命を救っており、任務遂行に対する自覚の高さ正義感あふれる行動には敬意を表すとともに、残念でならない思いである。

災害対策本部では、市がISO9001を取得していたことからその手法を用いての全職員(300人)への情報の周知が矢継ぎ早に徹底して行われており、こういった点は本市防災計画の中で見習わなければならない点である。

また、避難所の設置では増え続ける避難者の地域コミュニティ単位での対応を、市民の安否確認では市独自の全住民への支援金交付により1週間で市民の80%の安否確認出来るなど過去の災害を教訓とした対応であり、このほかにも避難所対策としては医療支援、栄養管理、経済自殺対策などを、仮設住宅関係では地域コミュニティマネジメント、組長・戸長会議の開催、障がい者・買い物弱者支援、孤独者への給食配食、PTSD対策を施すなど素晴らしい対応である。

相馬市は、福島第一原子力発電所に隣接することから放射性物質の風評被害により医薬品、燃料、食料ほか生活物資等の輸送が断れるなど困難な状況にあったが、「持って来ないのなら取りに行く」とトラック部隊を編成し危機を乗り越えるなど現場対応力が極めて高く、災害対策本部長のリーダーシップが光っている。

その後の復興状況については、大量に発生したガレキ処理では中間処理を経ての災害廃棄物焼却施設により平成26年度中にその処理を終了する予定であるが、原発汚染による放射性物質の除染や除染土砂の仮置き場問題の今後の対応などは地方自治体の守備範囲を超えるものであり、今後の東京電力及び国の動向によるが、国民全体の問題として注視していかなければならないものである。

○福島県会津若松市

議会基本条例制定後の議会改革の取り組みについて

【所 見】

以前、京都市で開催された議会改革に関するセミナーに参加した際、会津若松市議会の取り組みが先進事例として発表があり、発表者であった松崎新議員と名刺交換をさせていただいた際、視察受入可能の旨、いただいていたことから今回あつかましくも視察を申し入れたところ受入いただいたものである。

さて、本市議会においても平成10年、第19期市議会において議長の諮問機関として「議会改革推進協議会」を設置し議会組織、運営、諸制度等市議会全般について取り組んできたところだが、今では全国の地方自治体議会が何らの形で議会改革に取り組み、「分権時代の議会改革」、「変わる地方議会」として、市民に開かれ、市民を巻き込んだ形での市民とともに歩む議会運営へと進化している。

前期（第22期）に当時の所属会派で行った北海道栗山町議会への議会基本条例に関する調査や市議会議会改革勉強会での茨城県取手市議会への同調査等を踏まえ、さらに今期（第23期）設置した議会基本条例分科会の素案に基づいた全議員による議論を経て、本年6月市議会定例会において「足利市議会基本条例」の制定を果たすことが出来た。

そして、同条例の基づく議会報告会の開催を間近に迫っての今回の会津若松市議会の視察は、具体的な開催に関する事項、注意すべき点等について、会津若松市議会基本条例の概要と特色を調査し、さらに、その先にある政策形成サイクル、議員間討論までに及び調査させていただいた

会津若松市議会は、全国から注目を集める議会改革の最前線を走るモデル議会のひとつであり、その議会基本条例は平成20年6月に制定するなど本市議会の5年先を進んでいるといえるものの、条例自体はあれもこれも盛り込んだ詳細なものではなく比較的シンプルなものであるといえる。

しかしながら、全文に盛り込んだ「多様な市民の意見を多用に代表する…」の基本方針に基づく、市民との意見交換会の実施によりその多様な意見をくみ上げており、この部分においては考え方を同じとしている。

若松市議会の意見交換会は、年2回、予算審査のあった定例会及び決算審査のあった定例会の直後にしない15箇所ずつで開催されているが、本市議会においては初めてとなる「議会報告会・意見交換会」2箇所開催後の検証を受け、今後の取り組み方を検討していくが、会津若松市議会視察は、様々な実務的なアドバ

イスをいただく中で大変価値あるものであった。